

## 平成26年度ユニバーサルデザイン（UD）教育の取組

学校名	吉野ヶ里町立三田川中学校		
所在地	神埼郡吉野ヶ里町吉田303番地		
校長名	重松 俊宏		
学級数	11学級	実施学年	1年
児童生徒数	247人	児童生徒数	72人

### 1 取組のねらい

さまざまな取り組みを通して、ユニバーサルデザイン（UD）についての理解を深め、本校がめざす生徒像「自分や他人を大切にし、生命を尊重する生徒」の育成に生かすことをねらいとする。

### 2 取組の実際

#### (1) 心のUD活動「ちょボラ週間」についての取組

自他を大切にし、誰もが暮らしやすい環境をつくり出すために、心のユニバーサルデザイン「ちょボラ週間」に取り組んだ。誰にも知られないようにちょっとしたボランティア活動を行うもので、1週間後に、他人が行ったちょボラ活動を見つけ出して発表し、互いに認め合う取り組みである。見つかった生徒は残念がる一方で、喜んでいた。

「ちょボラ」ペタペタカード  
月 日 ~ 月 日  
チャレンジャー 年 組 ( )

**チャレンジ1** 自分がみんなのためにしたこと（ちょボラ）をへそくりボックスにためていこう  
※自分のイメージがかったら「こっせりす」をへそくりボックスに貼ります。  
自分のへそくりボックス

月-日	みんなのためにしたこと	こっせりす	ほつたすけ

**チャレンジ2** 友だちがみんなのためにしたことをごっそり書いておこう  
※友だちの「ちょボラ」を貼ったら、「こっせりす」に貼ります。  
友だちのへそくりボックス

月-日	名 前	みんなのためにしたこと	こっせりす

**振り返り** こっせりボランティアにチャレンジして感じたことを書いてみよう

こっせりすの数	いまだに思っていること(こっせりす)	備 考

#### (2) 他者の立場になって物事を考える取組「ブラインドウォーク」

本校の1年生を対象に、目が不自由な方の立場を疑似体感する取組「ブラインドウォーク」を実施し、障がいのある人たちの抱える悩みや社会の実情を理解し、考える取組を行った。初めて目が見えない世界を疑似体験し、その怖さや不安から、障がいのある方たちの気持ちに気づくことができた。以下は、その際の活動の様子と感想である。

- 友だちを信用して歩くことは不安だったけど、終わった時は信頼が増した。
- 普段使っている階段が（見えないと）こんなにこわいとは思わなかった。
- 正直怖かった。目が見えない人の気持ちがよくわかった。
- いろんな障がいのある人がいるけど、苦労して生活しているんだなぁと思った。

